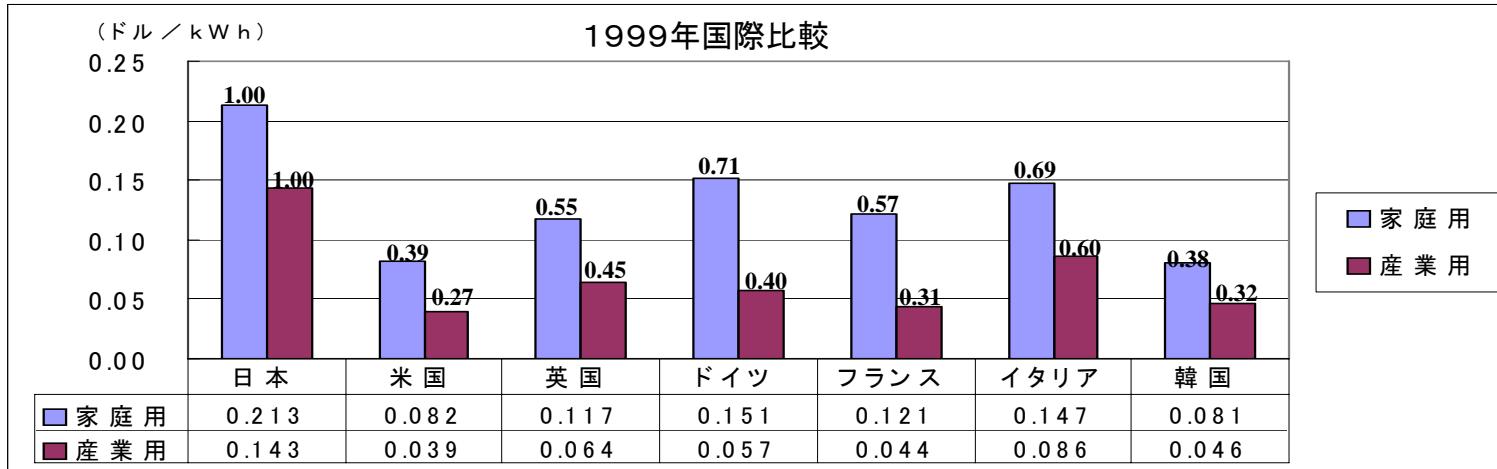


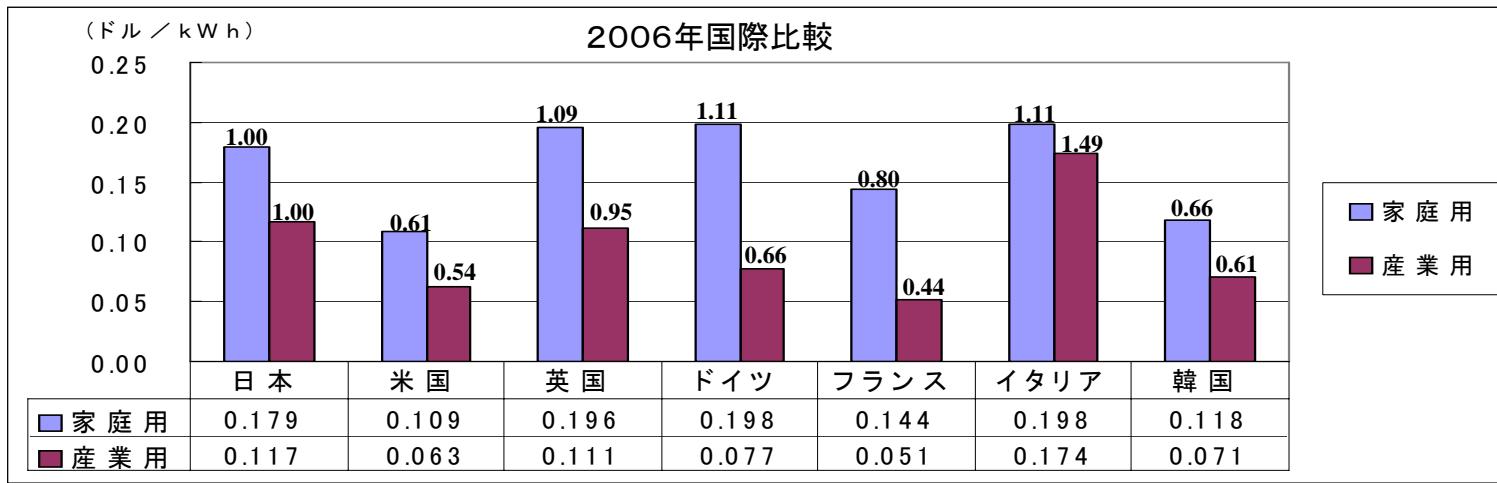
①電気料金－国際比較－

➤ 国際的に見て、内外価格差は一部の国との間では依然残るものの、縮小している。

自由化導入直前



現在



※1999年と2006年の各国の為替レートを元に算出(米国、英国(家庭用)、韓国は2006年7～9月、英国(産業用)は2006年4～6月、イタリアは2005年、ドイツは2004年の値)

※各国の1年間の使用形態を限定しない平均単価を計算したもの。

※産業用料金の中には、業務用(商業用)の料金を含むものと含まないものがある。日本の産業用料金の中には業務用の料金を含む。

※アメリカについては課税前の価格。

※グラフ上の数値は、日本を1とした場合の各国の価格の比率

出所:OECD/IEA, ENERGY PRICES & TAXES 4Q/2006

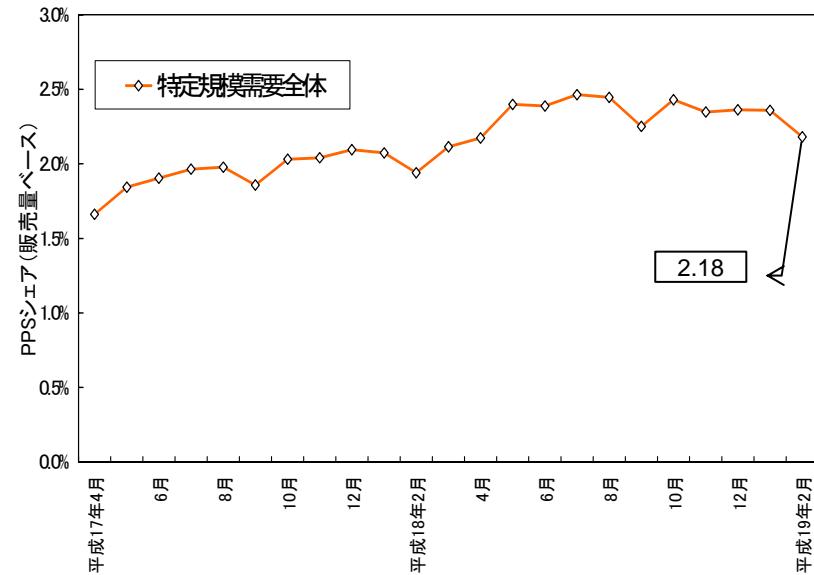
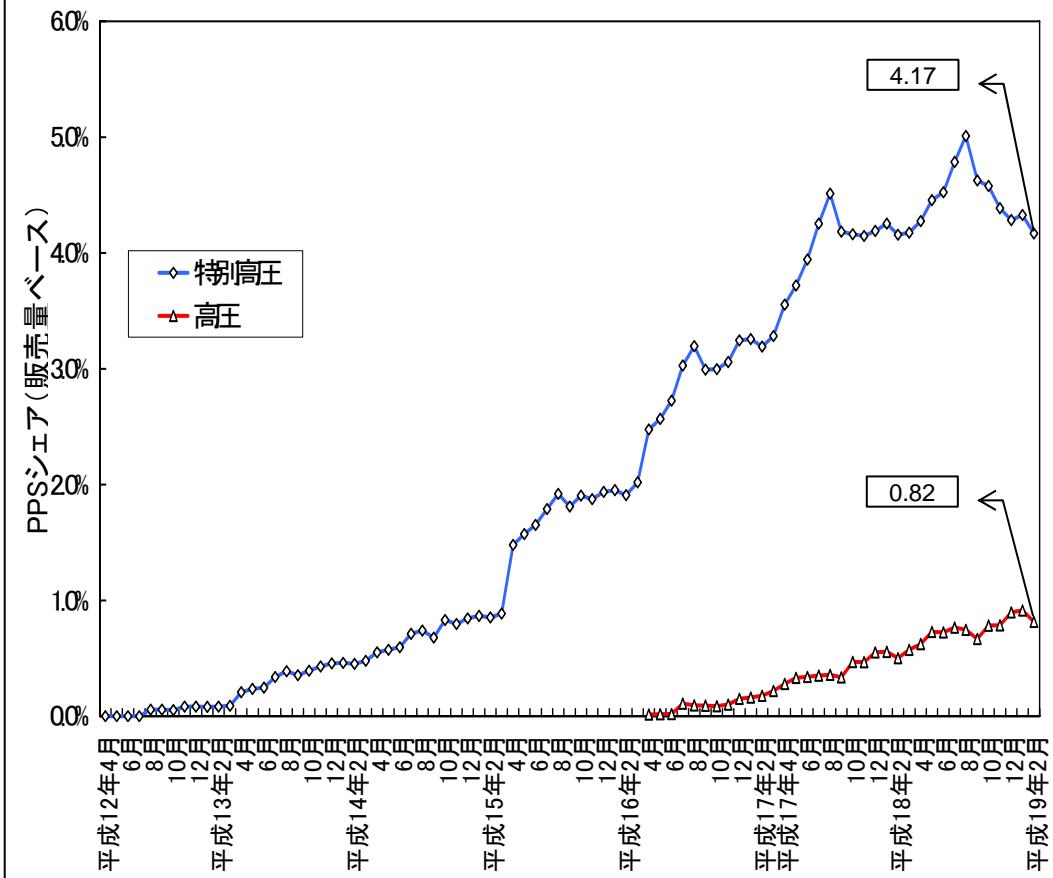
電力需要実績(電気事業連合会)、

各電力会社決算短信及び有価証券報告書

②競争状況—PPS販売電力量シェア(全国)—

- 小売部門における部分自由化の導入以降、**PPSの販売電力量シェアは増加しているが、未だ低い水準**であり、直近では伸び悩む傾向が見られる。

PPSの販売電力量シェア(全国)



➤ H19年2月現在のPPSシェア
特定規模需要全体: 2.18%
特別高圧: 4.17%
高圧: 0.82%

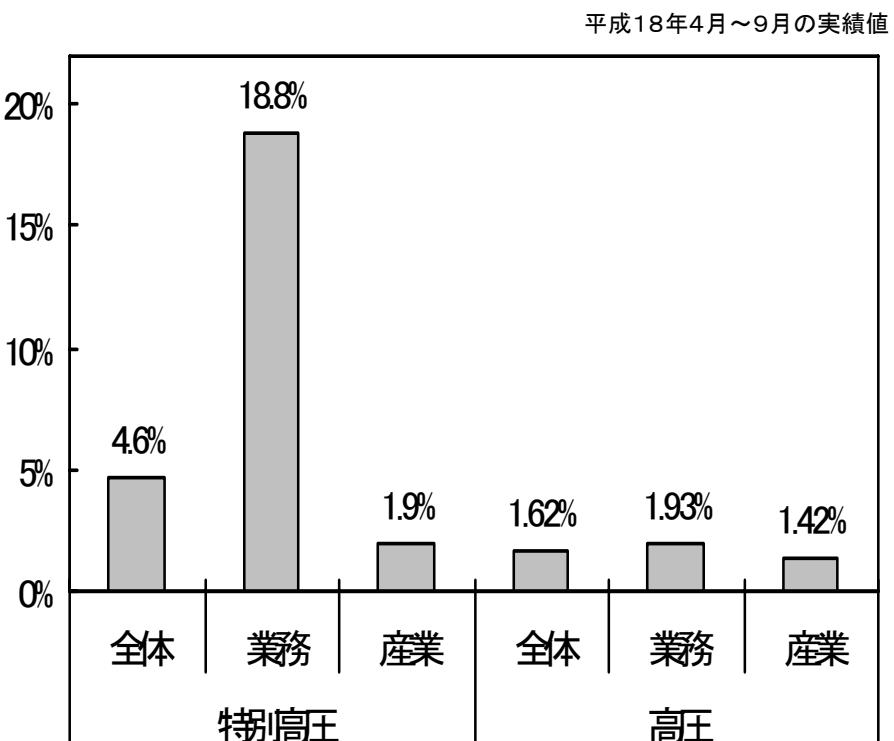
※平成16年度のシェアは平成17年度と同様、高圧50kW以上の需要に対するシェアを記載。(統計の制約から、高圧50kW以上の需要には、選択約款の対象需要をすべて計上。)

出所:発受電月報

②競争状況－PPS販売電力量シェア(地域別、需要種別)－

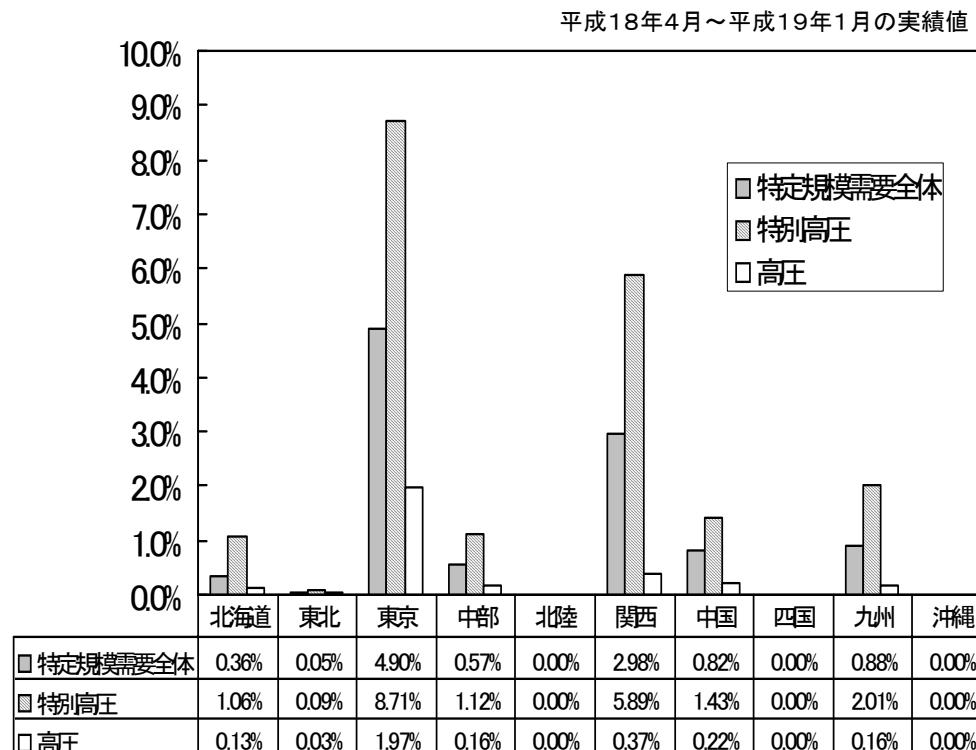
- PPSのシェアは特別高圧業務用においては相対的に高くなっているが、高圧や産業用では低いシェアにとどまっている。
- 地域別では、大都市圏において相対的にシェアが大きく、地方においては低いシェアとなっている。

PPSの販売電力量シェア(需要種別)



出所:平成18年度上期電力需要調査

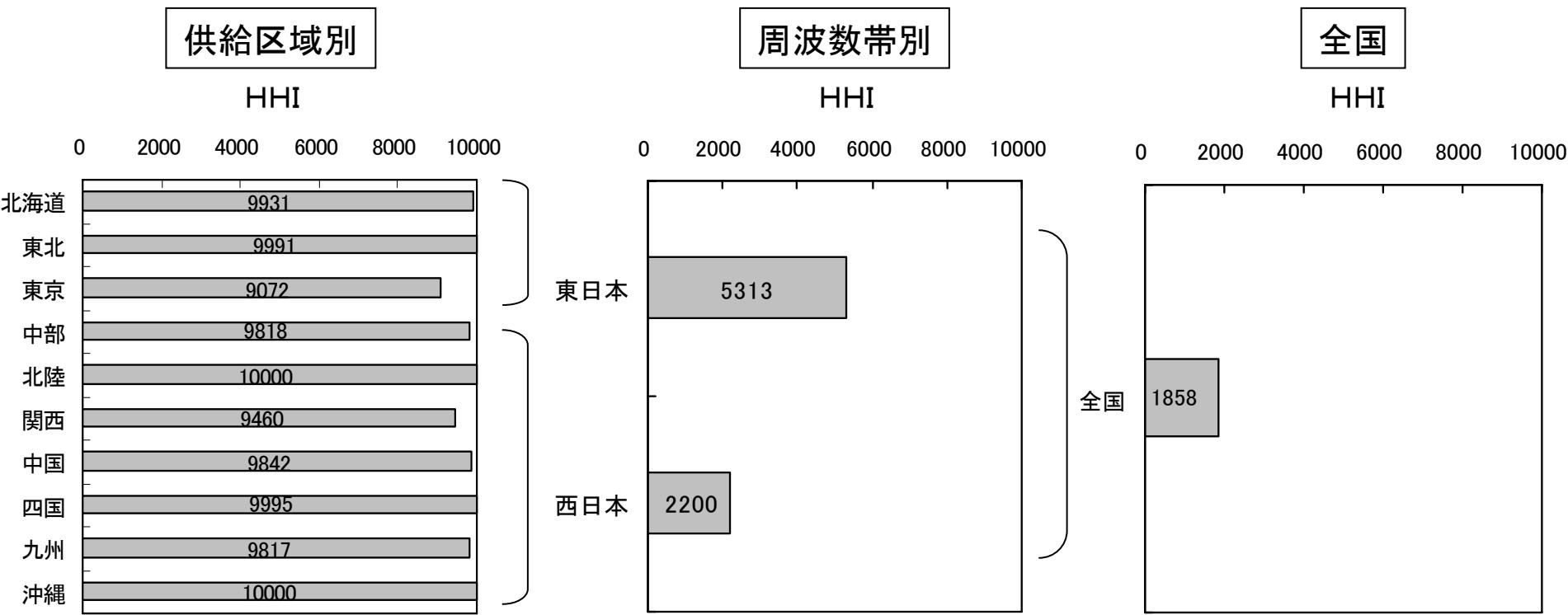
PPSの販売電力量シェア(地域別)



出所:発受電月報

②競争状況—HHI指数評価—

- HHI指数で評価すると、仮に全国大の市場を想定した場合、HHIは1,800程度となっており、外形的には「やや集中している」状態にある。
- 仮に供給区域別の市場を想定した場合、HHIは9,000～10,000であり、外形的にはほぼ独占状態にある。

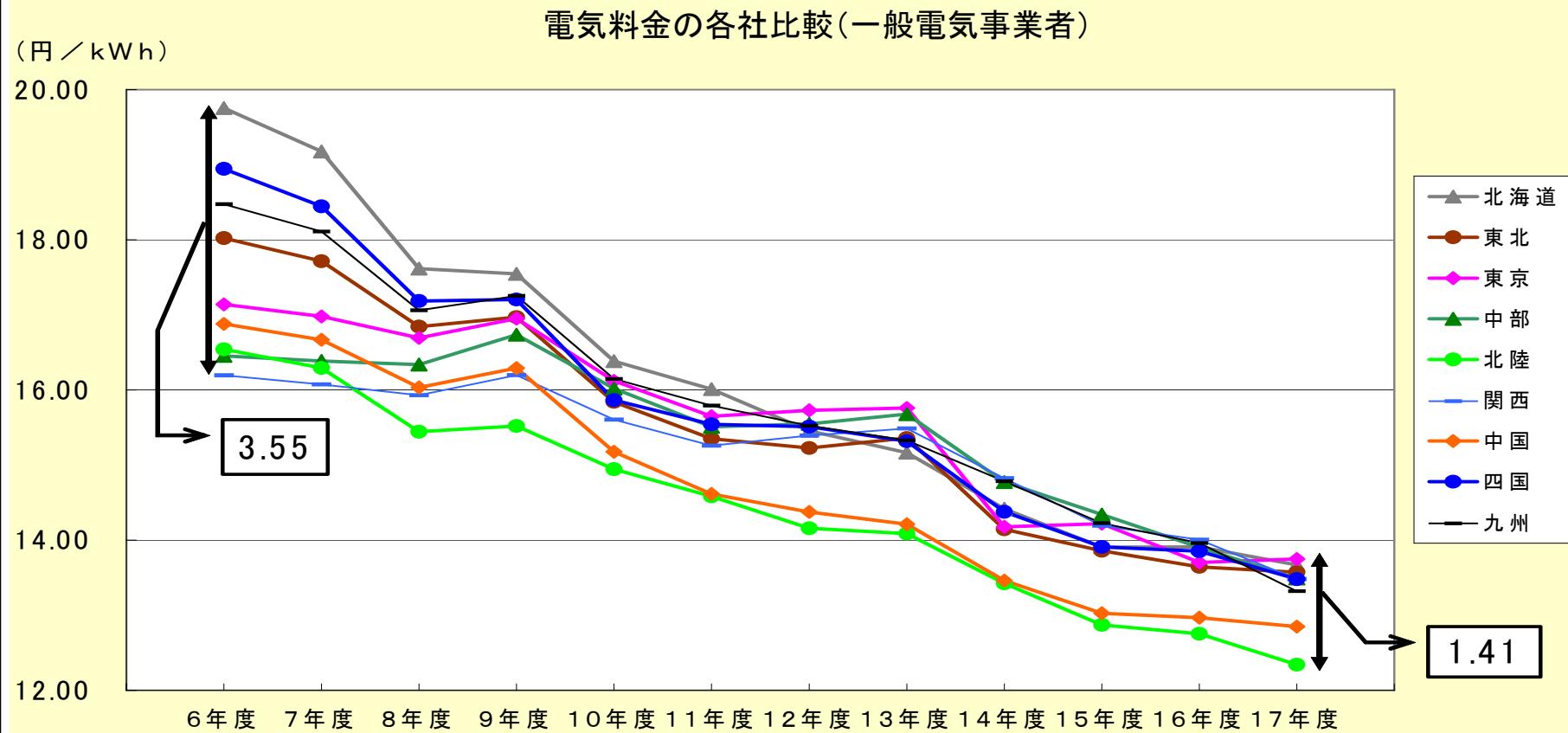


平成18年1月～12月の実績値

(注: HHI=10,000の場合に完全独占であり、HHIがゼロに近づくほど競争状態である。EUや米国では1,800以下で集中度はやや集中している(moderately concentrated)と評価される。1,000以下なら競争的と判断される。

②競争状況－電気料金(一般電気事業者間比較)－

- 一般電気事業者間による供給区域外への供給は、これまで1件しか行われていないものの、
一般電気事業者間の料金格差は縮小しており、潜在的な競争圧力がはたらいていると評価
される。

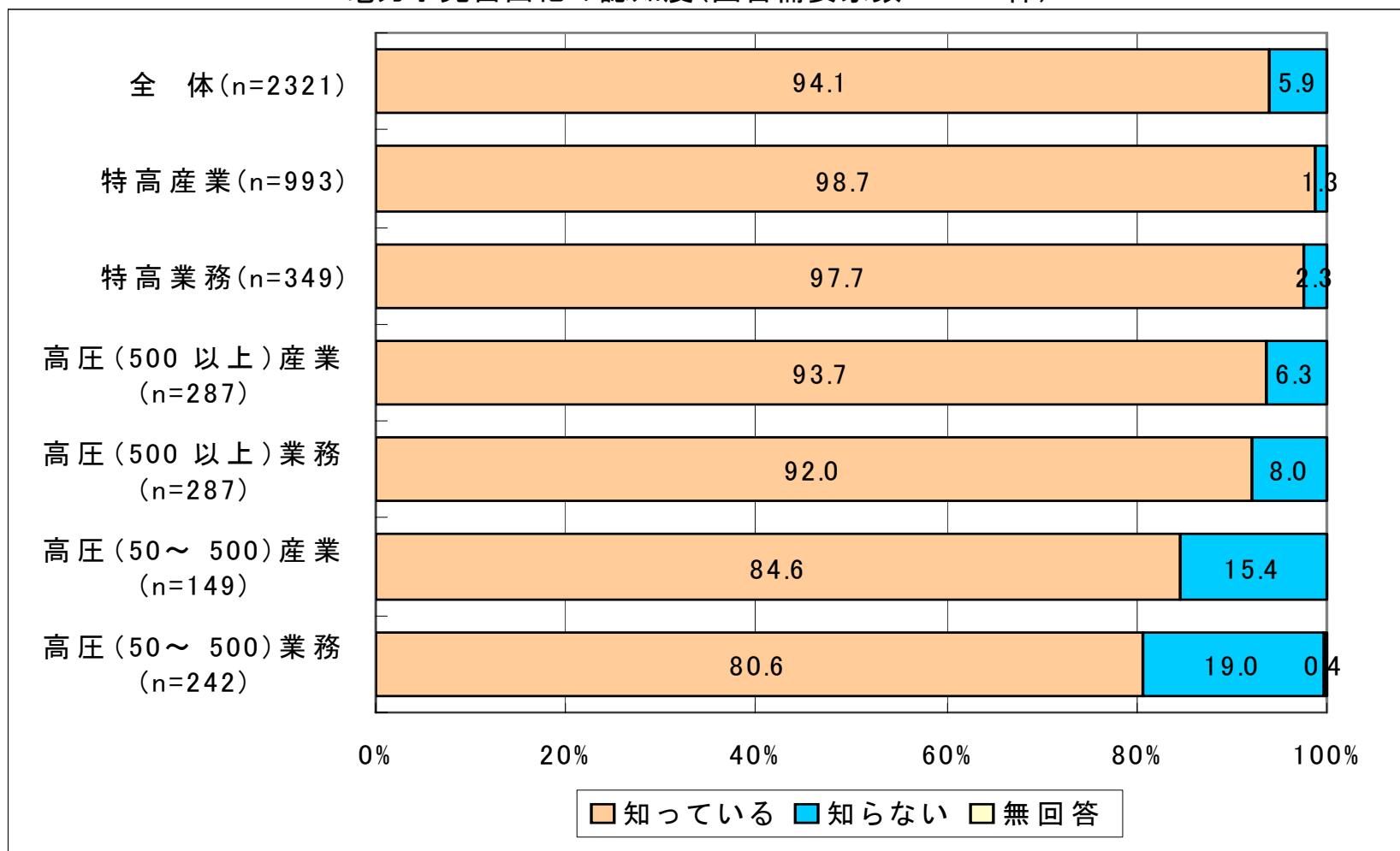


※電気料金は、電力料収入を電力の販売電力量(kWh)の合計で除した平均単価。

③需要家の意識(大口需要家)－電力小売自由化の認知度－

- ▶ 電力小売自由化については全体的に認知度が高いが、**高圧部門の需要家の認知度は特別高圧部門に比べてやや低い。**

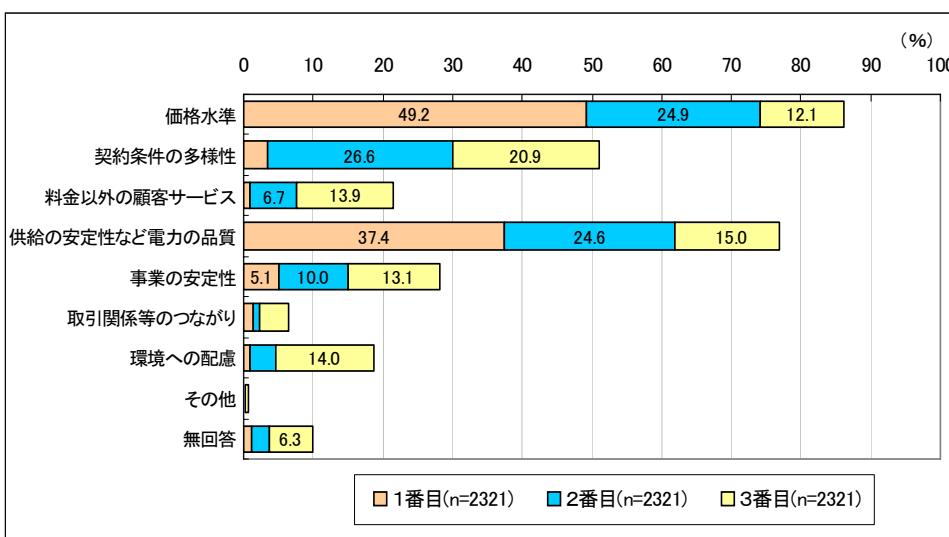
電力小売自由化の認知度(回答需要家数:2321件)



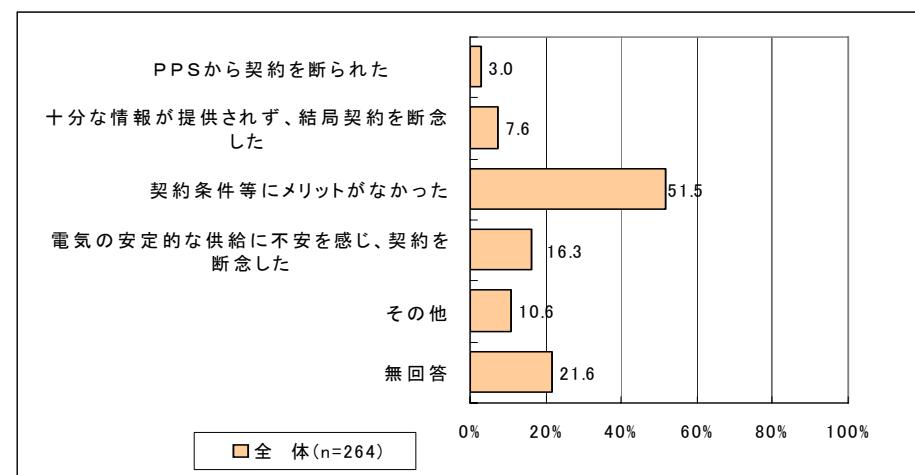
③需要家の意識(大口需要家)ー電気事業者との契約ー

- 電気事業者を選択する場合に重視する項目としては、「**価格水準**」「**供給の安定性など電力の品質**」を重視している需要家が多く見られる。
- PPS・地元以外の電力会社を比較・検討したが、地元の電力会社と契約している理由として、「**契約条件等にメリットがなかった**」を挙げている人の割合が高い。
- 地元の電力会社以外を比較検討しない理由としては、「**契約条件等にメリットを感じない**」や「**比較・検討する方法がわからない**」と回答している需要家が多い。

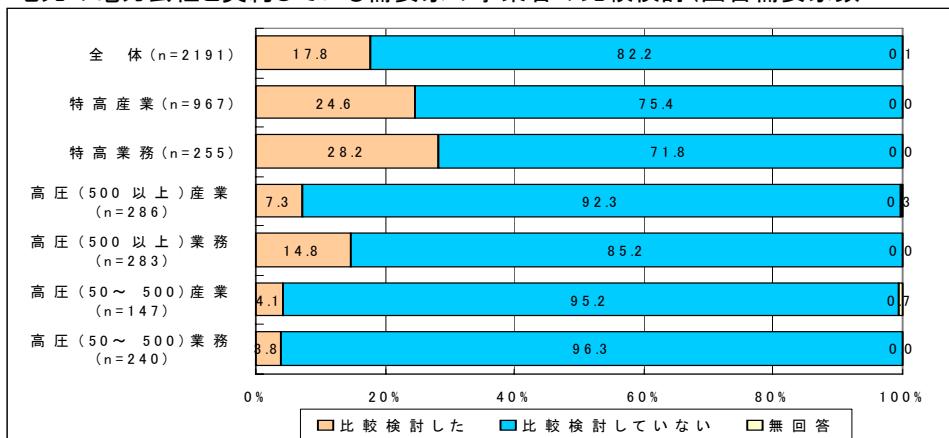
電気事業者を選択する場合に重視する項目(回答需要家数:2321件)



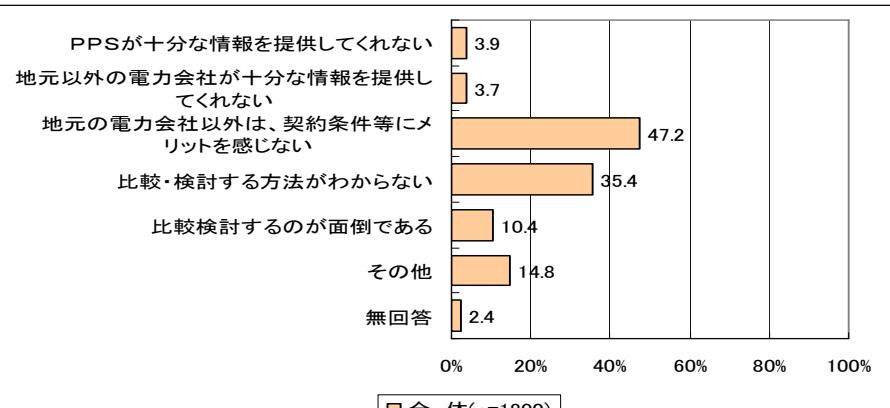
PPSを比較検討したが地元の電力会社と契約している理由(回答需要家数:264件)



地元の電力会社と契約している需要家の事業者の比較検討(回答需要家数:2191件)



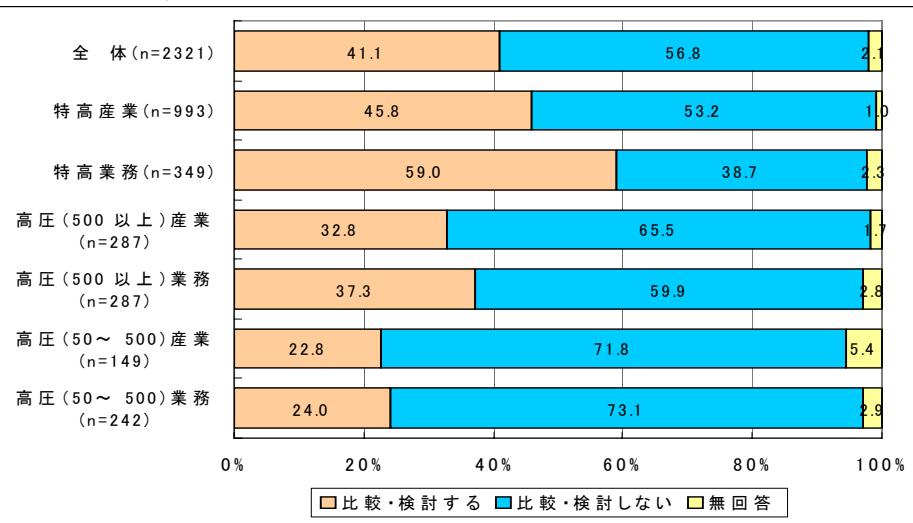
地元の電力会社以外を比較検討しない理由(回答需要家数:1800件)



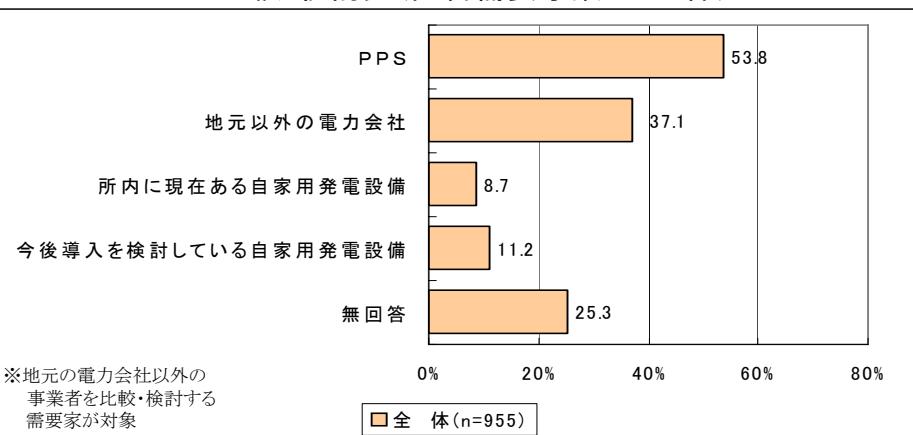
③需要家の意識(大口需要家)－今後の電力調達－

- 今後の電力契約の更新時に、地元の電力会社以外の電気事業者を比較・検討すると回答した需要家の割合は全体の約40%で、相対的には特別高圧業務用の割合が高い。
- 地元の電力会社以外の電気事業者を比較・検討しない理由としては、「契約条件はメリットがない可能性が高い」や、特にPPSについては「電気が安定的に供給されるか不安がある」を挙げている人の割合が高い。

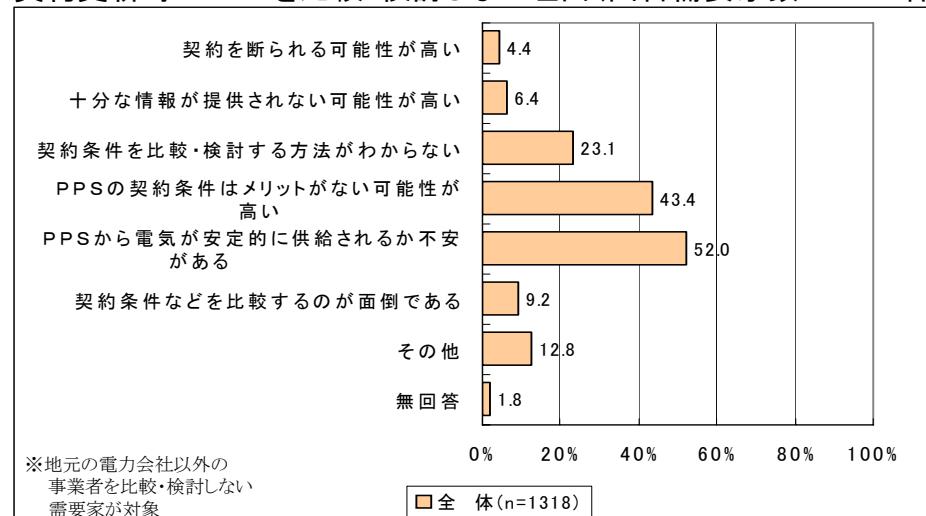
今後の契約更新時の比較・検討(回答需要家数:2321件)



比較・検討先(回答需要家数:955件)



契約更新時にPPSを比較・検討しない理由(回答需要家数:1318件)



契約更新時に地元以外の電力会社を比較・検討しない理由
(回答需要家数:1318件)

